

主要事業評価シート(第2次実施計画/R1・2・3年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	上下水道部	
	17012	公共下水道施設整備事業	課名	下水道課 下水道工務G	
	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上	財務科目	会計	14:公共下水道事業会計
	基本施策	03:上下水道の充実		款	資1:資本的支出
	施策の方向	02:生活排水対策の推進		項	01:建設改良費
	戦略プロジェクト	-		目	01:管渠整備費
事業予定期間	H 6 ~ R 17 年度		主な根拠法令要綱等 下水道法、都市計画法		

② 目的・概要	対象	下水道処理区域内の市民
	目的	生活排水処理アクションプログラムに基づき、未普及地域での計画的な公共下水道の整備を推進し、生活排水を適切に処理することにより、快適な生活環境と健全な水環境を維持していくことを目的とする。
概要	公共下水道未普及地域での計画的な下水管渠整備を推進する。	

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	○管渠工事 一式	○管渠工事 一式 ○生活排水処理アクションプログラム 見直業務 一式	○管渠工事 一式 ○変更事業計画策定 一式	
	年度実績	○管渠工事(ポンプ設置含む) 管渠工L=4,104m	○管渠工事(ポンプ設置含む) 管渠工L=5,448m ○生活排水処理アクションプログラム 見直業務 一式	○管渠工事(ポンプ設置含む) 管渠工L=7,156m ○変更事業計画策定 一式	
事業の計画・実績	計画額	事業費	550,000千円	600,000千円	600,000千円
		国庫支出金	238,000千円	240,500千円	240,500千円
		県支出金			
		地方債	280,800千円	323,500千円	323,500千円
		その他			
	予算額	事業費	658,570千円	638,436千円	664,982千円
		国庫支出金	252,819千円	240,850千円	251,400千円
		県支出金			
		地方債	333,700千円	366,900千円	350,300千円
		その他	72,051千円	30,686千円	63,282千円
	決算額	事業費 ①	645,900千円	624,906千円	658,364千円
		国庫支出金	252,819千円	240,850千円	251,400千円
		県支出金			
		地方債	333,700千円	366,900千円	350,300千円
		その他	59,381千円	17,156千円	56,664千円
人件費	総人件費 ②	31,396千円	31,356千円	31,612千円	
	一般職員	31,396千円	31,356千円	31,612千円	
	所要人員	4.00	4.00	4.00	
	会計年度任用職員等	0千円	0千円	0千円	
	総コスト(①+②)	677,296千円	656,262千円	689,976千円	
受益者負担率	0.0%	0.0%	0.0%		

			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
④ 指標	①	名称 公共下水道普及率	計画値	59	60	61
		各年度末の普及率(公共下水道整備人口/住民基本台帳人口)	実績値	59	60	61
			単位	%	%	%
	②	名称 公共下水道整備率	計画値	54	57	60
		各年度末の整備率 (公共下水道整備面積/公共下水道全体区域面積)	実績値	55	57	59
			単位	%	%	%
	③	名称	計画値			
			実績値			
			単位			

⑤ 事業の改善	【前回評価の対応方針の概要を記入】	持続的な汚水処理システムを構築するためには、生活排水処理アクションプログラムに基づき、事業区域を拡張し、未普及地域での計画的な公共下水道整備を推進する必要がある。
	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】	下水道施設の整備・普及を進めるため、流域関連亀山市公共下水道事業計画を変更し、事業区域の拡張を実施した。また、財源確保に努めるとともに、公共下水道普及率向上に向けては、新型コロナウイルス感染症防止対策により、地元説明会の代わりに書面による通知を行い、下水道への接続の早期実現に努めた。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 計画どおりに流域関連亀山市公共下水道事業計画を変更し、事業区域の拡張を実施した。また、国庫補助金の財源確保に努め、上水道移設補償費が一部繰越となったが、下水道未普及地域において約7.2kmの管渠整備を実施し、整備(供用)面積で31.1haの公共下水道整備の進捗が図れた。	B まずは実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 市内の公共下水道普及率は60%から61%に進捗した。また、公共下水道整備率は57%から59%に進捗し、概ね目標を達成することができた。	B まずは成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 今後の未普及地域において、計画的に公共下水道整備を推進するとともに財源確保が必要である。	次期実施計画への方向性 <input type="checkbox"/> 継続(拡大) <input checked="" type="checkbox"/> 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> 継続(縮小) <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 公共下水道普及率向上に向けて、下水道事業への理解を深めてもらうため、地域説明会等を行い、公共下水道事業の推進に努める。また、財源の確保については、制度改正等の情報をいち早く収集し財源確保に務める。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 未普及地域での計画的な公共下水道整備を推進することが可能となり、持続的な汚水処理システムの構築に向け推進できる。	
対応時期		令和4年度	

【1次評価者】	上下水道部 下水道課 下水道工務グループリーダー 曾我 信介
【最終評価者】	上下水道部 下水道課長 山内 光広

(参考:前期基本計画期間(H29-R3)における評価履歴)

		H29	H30	R1	R2	R3
判定	活動	B	B	B	B	B
	成果	B	B	B	B	B

■令和3年度予算額(事業費)の内訳

予算額(事業費)		664,982 千円
内訳	令和2年度からの繰越額	55,200 千円
	令和3年度の最終予算額	629,515 千円
	令和4年度への繰越額	▲19,733 千円